

報道各位

平成26年度 歯と口の健康週間にあたって

日本歯磨工業会（会長 藤重貞慶）では、来る6月4日から始まる歯と口の健康週間（6月4日～10日）に向けて、例年どおり、口腔衛生を呼びかける歯と口の健康啓発ポスターを制作し全国にお届けします。

本リリースでは、名称変更から2年目を迎える「歯と口の健康週間」に関連する取り組みと当工業会の活動についてご紹介します。

『歯と口の健康週間の沿革』

「歯と口の健康週間」の前身である「歯の衛生週間」は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として、昭和3年6月4日に「むし歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが、昭和24年から週間行事となりました。昭和27年には6月4日から10日までの1週間に定められ、昭和33年より「歯の衛生週間」として毎年実施されるようになり、平成25年より「歯と口の健康週間」として新たにスタートしました。

『平成26年度 歯と口の健康週間について』

目的：この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

標語：「歯と口は 健康・元気の 源だ」

（大阪市立市岡東中学校1年 奥田 千聖さんの作品）

本年度の重点目標

「生きる力を支える歯科口腔保健の推進

～生涯を通じた8020運動の新たな展開～」

歯と口は国民が健康に生きていく力を支えるものであり、歯科疾患の予防や歯と口の健康を保持する取り組みを進める必要があることから、「生きる力を支える歯科口腔保健の推進」を重点目標とする。

実施期間：平成26年6月4日（水）～同年6月10日（火）まで

主催：厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会

< 1 >平成26年度 歯と口の健康啓発ポスターの配布

当工業会では、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。ポスターのキャラクターは、昨年から引き続き、愛知万博のキャラクター（モリゾー、キッコロ）などを手掛けた「アランジアロンゾ」の書き起こしを採用しました。

『企画・制作』

厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会及び日本歯磨工業会

『デザイン』 アランジアロンゾ (B3サイズ 多色刷り)

『平成26年度 標語』

「歯と口は 健康・元気の 源だ」

【日本学校歯科医会】が募集した小中学校の標語の中から

大阪市立市岡東中学校1年 奥田 千聖さんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」(厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標)

「一生、自分の歯で食べよう」(日本歯科医師会の標語)

「午後のスタートハミガキから」(日本歯磨工業会の標語)

『配布』

ポスター27万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。

『活用』

このポスターは、歯と口の健康週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いしています。「歯と口の健康週間(6月4日～10日)」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしています。



平成26年度 歯と口の健康啓発ポスター

< 2 > ホームページからの情報発信について

「みがこうネット」では、新たなコンテンツの追加、情報の更新など、生活者のみなさまへ歯や歯磨に関する情報を発信しています。また、工業会サイトでは、会員各社の製品一覧や歯磨出荷統計の掲載など工業会の活動の様子を適時伝えています。【 <http://www.hamigaki.gr.jp/>】

1. 「みがこうネット」のコンテンツ制作・更新予定

1) キャンペーンの実施

読者も参加できるインタラクティブな企画に取り組み、歯磨および関連情報への理解促進をはかる。

- ①歯と口の健康週間企画「標語募集キャンペーン」の継続実施（4月～6月）
- ②「クイズに答えて『歯カセ』になろう！歯みがきクイズキャンペーン」の継続実施（8月～10月）

2) 各コンテンツの企画案

①新コンテンツ

- ・オーラルケア豆知識の紹介

「保健だより」を活用し、歯磨、洗口剤、ハブラシ、歯間クリーナーなどの選び方を紹介する。

②コンテンツの継続、見直し

- ・OLかわら版

おかずレシピの連載（年2回）

- ・はみがき学級

時間割コンテンツのデータ、内容を見直し最新の情報に更新予定

- ・がんばれ！みがく君は、年3回更新予定

③スマホやSNSへの対応

- ・スマートフォンからのキャンペーン応募をしやすくする

- ・SNS（twitter、facebook）のリンクボタンを設置し訪問者数を増やす

2. 歯と口の健康週間企画「第14回標語募集キャンペーン」

歯と口の健康週間に合わせ、「歯の大切さ、歯をみがくことの大切さを言葉にしてみませんか」をテーマに標語を募集し、歯と口の健康の関心を喚起すると共に歯磨の重要性を啓発します（4月1日～6月30日の3ヶ月間で実施中）。

最優秀賞の他に、優秀賞、ユニーク賞、ファミリー賞、キッズチャレンジ賞、佳作に選ばれた方には、賞金や記念品を贈呈し、最優秀作品は、当工業会の標語として幅広く活用していきます。また、昨年好評だったキッズチャレンジ賞を拡大し、キッズ最優秀賞とキッズ優秀賞を設定します。本年は、昨年度の応募作品総数9,916作品を上回る応募を目指します。

< 3 > 啓発冊子の改訂

当工業会では、オーラルケアに関する情報冊子や書籍の発行、キャンペーンや標語募集、さらには、インターネットのホームページをとおして、さまざまなオーラルケアの啓発情報を発信しています。

その中で、去年は、歯磨工業会が発行する情報冊子のうち「歯を守る」「歯磨剤の科学」の2種類を技術委員会、薬事委員会、広報委員会が共同で改訂しました。それぞれの冊子に盛り込まれているデータや記述を最新のものに更新し、主に歯科衛生士養成校や歯科衛生士会で活用いただいています。

● 「歯を守る—健やかな生活は口腔保健から」（A4版 29頁、イラスト・図版多用）

保健指導者向けテキスト「歯を守る—健やかな生活は口腔保健から」は、全身の健康の維持増進とそれに関わる口腔保健の重要性、さらにはオーラルケアの具体的なあり方（歯磨剤の働き、効果的な歯みがき方法等）などについて、理解と認識を持っていただくことを目的に制作しています。

● 「歯磨剤の科学」（B5版 43頁、データ図表多用）

歯科専門家向けの「歯磨剤の科学」は、口腔保健剤としての「歯磨剤の科学」について述べています。歯磨剤の概論、基本的機能、薬用歯磨剤の効果、安全性、役割、歯磨剤によるセルフケアなどについて図や表を用いて説明しています。

＜4＞平成25年度日本歯磨工業会の主な委員会活動のご紹介

① 技術委員会：歯科衛生士養成校、歯科衛生士会等での特別授業（講演）開催

日本歯磨工業会では技術委員会が中心となり、歯磨に関する正しい情報を提供することを目的に、歯科衛生士養成校および歯科衛生士会へ専任講師および技術委員を派遣して特別授業、講演会を開催しています。この活動は平成5年に開始し、平成25年度をもって21年目を迎えました。その間の講師派遣件数は、歯科衛生士養成校279件、歯科衛生士会49件、その他団体24件、合計352件となりました。受講者数は歯科衛生士養成校19,516人、歯科衛生士会2,300人、その他団体1,011人、合計19,516人の皆様に受講いただきました。また、平成22年度から歯科衛生士養成校への案内を従来の東北、関東、東海、関西、中国、四国地区に北海道と九州地区を加え、全国に展開すると共に、全国都道府県の歯科衛生士会にも案内を行っています。昨年度は過去最高の42件の特別授業を開催し、歯科衛生士養成校の学生1,884人、歯科衛生士460名の方に受講いただきました。本年度も積極的な活動を展開いたします。

＜特別授業（講演）開催件数＞

	歯科衛生士養成校	歯科衛生士会	合計
平成21年度	13	0	13
平成22年度	23	7	30
平成23年度	19	4	23
平成24年度	22	5	27
平成25年度	36	6	42

② 薬事委員会：薬事講習会の開催

薬事法・関連法規等の情報収集とその周知を目的に、第4回薬事講習会を開催いたしました。また今回は、初めて大阪で開催いたしました。

講演テーマ：(1)「最近の薬務行政について～医薬部外品・化粧品を中心として～」：厚生労働省医薬食品局審査管理課

(2)「最近の医薬部外品・化粧品の広告について」：大阪府健康医療部薬務課医薬品流通グループ

講演日時：平成25年11月1日 参加会員数：11社59名

その他広告委員会では年2回の広告審査会を実施しております。

また、歯磨公正取引協議会では年1回、東京と大阪で景品表示法や公正競争規約についての講習会を実施しています。

以上

本件のお問い合わせ先： 日本歯磨工業会 山下 育生 TEL 03(3249)2511

平成25年度（1月～12月）歯磨出荷統計

1. 平成25年度の出荷実績について

平成25年度の歯磨類全体の出荷実績は、数量では461,968千個、中味総量では85,348トン、金額では106,119百万円となった。これを前年実績と比較すると、数量では5,092千個（+1.1%）、中味総量では3,522トン（+4.3%）、金額では2,868百万円（+2.8%）の増加となり、いずれも前年の水準を上回った。

2. 分類別、剤型別の出荷実績について

本統計は、薬事法の分類により歯磨を「化粧品類の歯磨剤（以下「化粧品」という）」と、「医薬部外品の歯磨剤（以下「医薬部外品」という）」とに分け、また、剤型が液状のものを「液体歯磨（以下「液体」という）」と「洗口剤」とに分けて、それぞれ作成した。

（1）化粧品と医薬部外品の割合

化粧品と医薬部外品の割合は、数量では化粧品7.0%、医薬部外品93.0%、中味総量では化粧品13.0%、医薬部外品87.0%、金額では化粧品6.7%、医薬部外品93.3%となった。

（2）剤型別の実績

① 練・半練及び潤製歯磨の合計は、数量では390,006千個、中味総量では44,428トン、金額では79,405百万円となっており、これを前年実績と比較すると数量では4,516千個（+1.2%）の増加、中味総量では572トン（-1.3%）の減少、金額では1,441百万円（+1.8%）の増加となった。なお、歯磨全体に占める練歯磨の割合は、数量では84.3%、中味総量で52.0%、金額では74.7%となっており、半練、潤製歯磨の歯磨全体に占める割合は、金額で0.1%であった

② 液体と洗口剤の合計は、数量では71,962千個、中味総量では40,920トン、金額では26,714百万円となっており、これを前年実績と比較すると数量では576千個（+0.8%）、中味総量では4,094トン（+11.1%）、金額では1,427百万円（+5.6%）の増加となった。なお、液体と洗口剤の歯磨全体に占める割合は、金額で液体が12.2%、洗口剤が13.0%、合計25.2%となっている。

3. 出荷実績前年比較（前年比）

	数量	重量	金額
練歯磨	101.2	98.7	101.8
半練・潤製粉	113.7	109.4	108.4
小計	101.2	98.7	101.8
液体はみがき	102.9	114.2	106.6
洗口剤	99.4	109.3	104.8
小計	100.8	111.1	105.6
合計	101.1	104.3	102.8

(%)

4. 出荷実績の推移（平成16年～平成25年）

歯磨類全体の出荷実績（金額）の推移をみると、平成16年度の82,214百万円から平成25年度は106,119百万円となり、23,905百万円増加した。

剤型別にみると、練・半練及び潤製歯磨の合計は、金額で65,503百万円から79,405百万円へ13,902百万円の増加となった。数量も358,285千個から390,006千個へ増加したが、重量は48,191トンから44,428トンへ減少した。

数量増と単価上昇が金額の拡大に貢献した。

液体歯磨と洗口剤の合計では、金額で16,711百万円から26,714百万円へ大きく伸長し、10,003百万円の増加となった。数量は44,779千個から71,962千個へ、重量は20,060トンから40,920トンへいずれも増加した。

数量増が金額の拡大に貢献した。大型化の傾向も継続している。

歯磨類 出荷金額推移

（百万円）

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
練歯磨	65,503	65,248	63,226	67,785	69,909	70,418	70,825	75,035	77,964	79,405
液体・洗口剤	16,711	18,926	19,402	19,788	19,863	21,228	23,142	24,277	25,287	26,714
合計	82,214	84,174	82,628	87,573	89,772	91,646	93,967	99,312	103,251	106,119

